

第 1 本講座の総論

1 講師経歴

加藤聡一郎

一橋大学法学部卒業（但し、司法試験の勉強は法科大学院入学後）

立教大学法科大学院未修者コース入学

2012 年司法試験不合格

2013 年司法試験不合格

↓

2014 年 司法試験合格 総合 801 番（重要事項優先主義）

2 講座の目的

（1）日ごろの勉強の重点の置き方

（2）答案作成のポイント

（3）欠点矯正のコツ

（4）平成 26 年司法試験の再現答案の検討 ・ 相場意識の習得

3 日ごろの勉強における重点の置き方

（1）大事なところに絞る

ア 最終目標

→ 問題点抽出と正確な論証(基本)ができること

イ 大事なところをわかるために

→ 大事な個所を把握するためのツールとしての過去問

（2）科目全体を何度も見直す

アまとめツールの作成，論証集の利用

イ 論証集・百選の目次の利用(不安な個所から)

(3) 論点・問題ごとに相場意識を持つ

ア 問題をたくさん解く

イ 他の受験生の答案をたくさん読む

4 答案作成のコツ

(1) 答案構成用紙は使わない

(2) 時間と枚数の管理

(3) 最後の問題は厚く書き、尻切れトンボにしない

5 弱点を補正する方法論

(1) チェックリストを作って答案練習前にこまめにチェック

(2) チェックリストの紹介

① 問いに正面から答える(形式的に)

② 最後の問題は厚く(差がつく理由)

③ 論点を書くか迷ったら、短めに触れる(半減させる)

④ 当たり前のことは短く書く(配点を意識)

⑤ 不利な事情、有利な事情はそれぞれ触れる

⑥ 時間管理は設問ごとに

⑦ 結論の妥当性

⑧ 3 段論法を堅守する(できていない人が多い)

⑨ 現場思考問題は、趣旨にさかのぼって短く書く

⑩ 要件検討はメリハリをつけて全要件検討する(あくまで配点を意識する)

+日本語として読みやすい、文章、文字で書く。

※科目ごとにチェックリストを作って、答案を書く前に確認。答案を書いた後にも確認